

会計区分	03	介護保険会
------	----	-------

令和6年度 事業評価書

事業主体	01800000	市民福祉部 高齢福祉課
03	地域支援事業費	02 一般介護予防事業費
A1	健康寿命の延伸 健康増進に積極的に取り組んでいる人の割合	01 一般介護予防事業費 (男性)81.00歳(女性)86.00歳 70.0%
02	05	介護予防事業

インプット	事業実施の背景にある課題	少子高齢化の伸展や独居高齢者の増加により、住み慣れた地域でできる限り自立した生活を送れるような地域包括ケアシステムのさらなる構築は課題である。平成26年に市が実施した基本チェックリストの回答者について5年後の認定状況を追跡したところ、「運動」と「栄養」の項目に該当している人が該当していない人と比べて、3.12倍要介護状態になりやすかったことが分かった。介護予防には、社会参加の促進と共に、「運動」や「栄養」面に対する取組み強化が課題である。			
	対象	65歳以上の高齢者			
	目的	・介護予防に自主的に取組む高齢者の増加を図る ・介護予防に資するボランティア活動や地域住民が主体となって実施する通いの場の充実を図ることで、社会参加を通じた活動的な高齢者の増加を図る ・リハビリテーション専門職の派遣により、介護予防の取り組みの強化を図る			
	概要	住民主体の通いの場の運営や活動、介護予防に資するボランティア活動の支援等を充実させることで、高齢者の自立支援に資する取組を推進する。 ・介護予防教室の開催 ・介護予防に資するボランティア活動や住民主体で運営されている自主サークル活動に対する費用補助の実施 ・自主サークル団体に対するリハビリテーション専門職の派遣			
	事業費(千円)	R02 R03 R04 R05 R06			
	予算額			18,806	3,260
	決算額			15,817	2,406
	年間の事業に要する時間 (正職員/正職員以外)	1,028 / 0			

活動指標(単位)		R02	R03	R04	R05	R06
介護予防教室の開催数	目標値				6	6
	実績値				8	8

KPI(単位)		R02	R03	R04	R05	R06
介護認定を受けずに生活している高齢者の割合	目標値				84	84
	実績値				83.6	83.7

評価分析	実績	<ul style="list-style-type: none"> ・介護予防教室開催回数/参加者数 11回/139人 ・リハビリテーション専門職派遣事業活用団体 延35団体
	効果	各地域で開催された介護予防の普及啓発や介護予防教室をとおして、市民自ら活動を継続できるように支援したことで、介護認定率はほぼ維持されている。
	活動指標分析 目標値の達成 ・未達成要因	今までの開催方法では実施が難しかったことにより、単発での開催を増やすなど地域の実情に合わせた開催方法を実施したため、予定より回数が増え目標値を達成した。
アウトカム	KPI分析 目標値の達成 ・未達成要因	高齢者の活動場所を提供し、活動場所の周知をしているものの、一定数の高齢者は外出を好まない人がいるため、利用に至らず目標達成できなかつた。
	実績からR07年度の事業の方向性	介護予防について広く周知する機会を設けることにより、介護予防の重要性を理解してもらうように単発的な教室開催で興味関心を高め、継続的な活動につなげるように15回コースの介護予防教室に参加してもらえるようにする。

アウトプット

アウトカム

令和6年度 事業評価書

会計区分	01	一般会計	事業主体	01800000	市民福祉部 高齢福祉課
大事業	A1	6つのまちづくり宣言 健康増進	款項目 KPI	03 民生費 健康寿命の延伸	01 社会福祉費 健康増進に積極的に取り組んでいる人の割合
		目指す姿 生涯健康で、元気に生きる！			03 老人福祉費 (男性)81.00歳(女性)86.00歳 目標値 70.0%
中事業	02	主要な取り組み 介護のいらないライフプラン			
小事業	06	地域介護予防活動支援事業	目標年度 令和6年度		



インプット	事業実施の背景にある課題	少子高齢化の伸展や独居高齢者の増加により、住み慣れた地域でできる限り自立した生活を送れるような地域包括ケアシステムのさらなる構築は課題である。また介護従事者の高齢化が進んでおり、介護従事者の負担軽減のためにもボランティアの活躍が重要である。
	対象	65歳以上の市民及びその活動を支援する人
	目的	・介護予防に資するボランティア活動や住民主体で運営される通いの場等に対する支援の実施 ・地域住民が主体となって実施する介護予防活動による通いの場の充実と生きがいづくりの推進 ・活動的な高齢者の増加による健康寿命の延伸及び介護給付費の抑制
	概要	以下を実施することで、地域の中で高齢者自身が主体となって実施する介護予防活動の育成と支援を行い、ボランティア活動を通じた生きがいづくり及び高齢者の通いの場の充実を図る。 ・介護支援ボランティア活動支援 ・ふれあい・いきいきサロン活動支援 ・地域介護予防活動支援
	事業費(千円)	R02 R03 R04 R05 R06 予算額 15,607 決算額 14,890
アウトプット	年間の事業に要する時間(正職員/正職員以外)	1,028 / 0

実績	実績	・介護支援ボランティア登録者数 614人 ・いきいき・ふれあいサロン運営補助 33団体 ・自主サークル活動団体 54団体 ・自主サークル補助 37団体
	効果	地域の中で高齢者自身が主体となって活動することで、ボランティア自身の生きがいづくり及び高齢者の通いの場の充実につながっている。



評価分析	活動指標分析 目標値の達成 ・未達成要因	前年度に比べてサロンへの支援回数が増えたことにより、目標達成することができた。サロンやサークルへの支援を継続することで安定的な活動が出来るように支援を継続していく。
	KPI分析 目標値の達成 ・未達成要因	高齢者施設は依然新型コロナウイルス感染症の影響にて、活動が制限していたが、5類移行して1年経過したことにより、サロン・サークル活動の活発化してきた。またそれに伴い、ボランティアの活動も活発化し目標を達成することができた。 目標値の設定方法の不備があったため、令和7年度以降の目標値を適正にするため、数値を変更する。
アウトカム	実績からR07年度の事業の方向性	ボランティアの活動に対する活動交付金の交付方法を、よりボランティアが活動に意欲を高める方法へ変更し、ボランティアの活動の場の拡大を図っていく。
	KPI(単位)	R02 R03 R04 R05 R06 目標値 155 実績値 188



アウトカム	KPI(単位)	R02 R03 R04 R05 R06 目標値 1,715 実績値 4,713
	サロン等高齢者活動参加数	